学校番号	106

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編詳解地理Ｂ　（二宮書店）						
副教材等	新編詳解地理Ｂワークブック　（二宮書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年で学習した地理Ａを基礎としてより深く学習します。教科書を読んでワークブックに取り組みます。そのあと、単元ごとに問題演習に取り組みます。

地理の学習は単に暗記すればよいのではなく、なぜそうなるのかと考え、理解する力を身につけます。

２　学習の到達目標

① 現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識を養います。

② 現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養います。

③ 地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養います。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業観察 ワークシート ワークブック	定期考査 ワークシート ワークブック 小テスト	定期考査 ワークシート ワークブック 小テスト	定期考査 ワークシート ワークブック 小テスト ノート提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地図と地理的技能	第1章地理情報と地図 世界観の変化と地図 地球儀と世界地図 世界情報の地図化 第2章地図と地域調査 地図の活用 身近な地域の調査	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 		a: 地理情報の種類ごとに適切な主題図を選択し，地図化する技能を身につけようとしたか。 b: 世界地図の投影法による表現方法の違いと利用について考察し，その有用性について考察したか。 c: 地形図の表現方法を学習し，作業や読み取りを通して，基本的な読図の技術を身につけたか。 d: 世界地図が人々の地理的知識や世界像によって変化してきたことを例に，地図の有用性について理解できたか。	定期考査 ワークブック ワークシート ノート提出

1学期	現代世界の系統地理的考察	第１章　自然環境 1　地形 　地上には営力により様々な規模の地形あることを大観させる。大地形・小地形それぞれの特徴，分布や形成要因について基礎的知識や概念を習得させ，地形と生活，自然災害との関係を考察させる。地形図の読図技能を習得させる。	○	○	○	○	a：地上には営力により様々な規模の地形あることを認識し，その環境や災害などを通して，地形が人々の生活にどのように影響しているかについて関心と課題意識を高めたか。 b：地殻変動がつくる大地形について，その分布や形成要因，時代による分類をとらえ，火山・地震との関係について考察したか。 　河川，海岸，その他の特徴的な地形について，形成要因や特徴とともに，人々の生活との関わりについて考察したか。 c：白地図に，プレートや火山，震源の分布などを記入され関連について考察したか。 d　世界の気候の空間的な規則性，傾向性，それらの形成要因等を，系統地理的方法で捉える視点や方法を身につけたか。	定期考査 ワークブック ワークシート ノート提出
	現代世界の系統地理的考察	2　気候 3　自然と生活 4　環境問題 　地球規模でみた気温・降水量・大気大循環，海洋や水の循環を取り上げ，それぞれの特色や形成要因を考察・理解させる。長期的におこる気候変動と，異常気象について理解させる。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a：世界の気候について，気候因子と気候要素の関係から，地球規模での分布と特徴について関心と課題認識を高めたか。 b：各気候区の判定基準を理解したうえで，気候地域の分布と特徴についての知識を深めたか。 c：それぞれの環境問題について，各種資料で発生の経緯や分布を確認し，現状や今後の対策について考察する技能を身につけたか。 d：世界の気候地域の分布や特徴，人々の生活との関わりについての基礎的・基本的知識や概念を習得できたか。	定期考査 ワークブック ワークシート ノート提出 小テスト

2学期	現代世界の系統地理的考察	第2章　資源と産業 農林水産業 資源･エネルギー 工業 流通と消費 第3章　人口と村落･都市 人口 村落 都市 第4章　生活文化と民族･宗教 衣食住 言語と宗教 民族と国家	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：世界の交通・通信・貿易・観光等の特徴や発達，グローバル化する変化に関して，系統地理的に追究する学習に積極的に取り組み，現代の流通･消費とその課題を捉える視点や方法を身につけようとしたか。 b：工業の種類と立地，歴史的な変容について，具体的な事例を通し考察できたか。 世界の村落･都市に関する分布や成立要因，発展過程に着目し，具体的事例を踏まえながら考察できたか。 c：資源・エネルギーに関する分布図や統計資料を活用し，その特色や変容について分析する技能を身につけたか。 現代世界の民族･領土問題について，世界的視野から系統地理的に捉える視点や方法を身につけたか。 d：村落・都市形態の特徴や変化について具体的な事例を通して考察し，世界の村落・都市の分布や動向に関する基礎的・基本的な知識や概念を習得できたか。 世界の民族・宗教の分布について基礎的・基本的な知識や概念を習得できたか。	定期考査 ワークブック ワークシート ノート提出

2学期後半～3学期	現代世界の地誌的考察	世界の地誌的考察 中国 韓国 東南アジア インド 西アジア・中央アジア アフリカ EU ロシア アメリカ ブラジル オーストラリア	○	○	○	○	a: 各地域の自然，資源・産業，民族・文化について，関心を高めたか。 b: 各地域の歴史的背景や，産業・生活の変化，資源開発，世界との結びつきについて考察させるとともに，それぞれの課題について理解できたか。 c: 各地域の自然、農牧業，鉱工業と貿易についての分布や統計資料から，その地域の特徴と変容を読み取る技能を身につけたか。 d: 各地域の歴史的背景や，自然、民族，経済成長について，その特色や課題を理解し，知識として身につけたか。	定期考査 ワークブック ワークシート ノート提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。